

職場内能力開発の基本 -人を育てる組織づくり-**■講師**

佐藤 浩章（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・准教授）
北海道大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。2002 年度から、愛媛大学で授業改善・カリキュラム開発・組織開発の方法、学生の学習・生活の支援に取り組む。この間、米国ポートランド州立大学客員研究員、名古屋大学客員准教授、北海道大学客員准教授、筑波大学客員研究員、国立教育政策研究所客員研究員、キングスカレッジロンドン客員研究フェローを兼任。



米澤 慎二（愛媛大学 教育学生支援部 次長）
愛媛県立川之石高等学校卒業後、国立大洲青年の家採用、国立特殊教育研究所、香川医科大学（現香川大学）、東京医科歯科大学、愛媛大学で勤務、主に人事系を中心に業務を行ってきたが、法人化後、広報室長、総務課長（この間危機管理室長兼務）を歴任し、人事課長を経て現職。SPOD-SD担当者として、スタッフ・ポートフォリオの開発及びSDプログラム開発を担当している。

■プログラム概要

FD、SDを担当する者にとって、職場内能力開発の基本的な知識が必要です。しかしながら、高等教育関係者がこうした基本的な内容を学ぶ機会は限られています。そもそも職場における能力開発は何のために行うのか。どのような類型があるのか。企画、実施、評価というサイクルをどのように回していけばよいのか。そして、機能的な能力開発組織をどう構築したらよいのか。こうした基本的内容を学び、改めて日々の実践を見直してみませんか。

本プログラムでは、機能的な能力開発組織（FD・SD担当部局）の事例や、組織的な能力開発体系の事例も学びながら、高等教育機関において、どのように組織的に能力開発を進めていけばよいのかを考えます。

こうした学習を通して、参加者は、自らの職場の能力開発を改善するヒントを持ち帰ることができます。

■本プログラムの到達目標

1. 職場における能力開発の意義について説明できる。
2. 職場における能力開発の3類型を説明できる。
3. 機能的な能力開発組織の事例を説明できる。
4. 組織的な能力開発体系の事例を説明できる。
5. 職場における能力開発の評価方法を説明できる。
6. 自らの職場の能力開発の改善のヒントを得る。